

道路予算が減少している中でどう整備するかを議論

新井柿崎線整備促進議員連盟と上越地域振興局地域整備部

恒例となった県道新井柿崎線整備促進議員連盟（宮崎政国会長）の現場視察。23日の午後、議員連盟に加入している12人の市議、顧問の5県議、上越地域振興局の地域整備部の幹部、市役所道路課の幹部で見て回りました。

この日の視察では、議員連盟が県当局に要望している歩道整備、交差点改良、防雪柵設置、路盤改良など20数か所のうち、12か所でマイクロバスを降り、現地に詳しい人から説明してもらいました。

現場での説明では、「故古川県議の時代から何十年も要望してきているが実現していない」「子どもたちの通学路になっていてとても危険だ。早く歩道の設置を」「ダンプなど大型車が通ると震度3くらいの揺れが起きる。テレビの音が聞こえなくなることもある」など切実な要望が次々と出されました。

視察が終わってからの意見交換会では、道路整備の遅れと財源の問題が中心テーマのひとつになりました。歩道整備・交差点改良について



県の担当者は、上越地域振興局管内だけでも70か所ほど要望が出ているがこのなかで取り組めるのは1年に10か所ほどにとどまっていることを明らかにしました。また、防雪柵に関しては、現在設置してあるのは2275メートルで、設置が必要な総延長の24%にすぎないとのべました。そして、県の方針として、財政が厳しいので、「平場の防雪柵の整備は、山間の雪崩防止を優先するので、その後になる」「消雪パイプの新設は厳しい。当面は機械除雪で対応していく」とのべたのです。

これにたいして市議からは予算確保に向けた取り組みについて様々な意見が出ました。私は、「一生懸命頑張っている下さるのわわかるが、きょうの視察でも、子どもたちの通学路に歩道がない、地吹雪で危険がいっぱいなど命と安全にかかわる場所がいくつもあつた。平場であろうが、山間部であろうが、命と安全にかかわることは最優先して整備してもらわなければならない。お金がないなら、ないなりに工夫が必要ではないか。県でも道路整備計画を持っていてと思うが、例えば、道路の新設を1、2年先送りしても危険箇所を整備していくことが求められている」と訴えました。

県の山本地域整備部長

9月定例議会審議日程 (会議開始時間はいずれも午前10時)

月 日 (曜日)	会議名	会議室名	備考
1日 (水)	本会議	議場	提案説明、質疑
2日 (木)	本会議	議場	総括質疑
3日 (金)	文教経済委員会	第1委員会室	上野議員担当
6日 (月)	文教経済委員会	第1委員会室	同
7日 (火)	厚生委員会	第1委員会室	平良木議員担当
8日 (水)	厚生委員会	第1委員会室	同
9日 (木)	建設企業委員会	第1委員会室	樋口議員担当
10日 (金)	建設企業委員会	第1委員会室	同
13日 (月)	総務委員会	第1委員会室	橋爪議員担当
14日 (火)	総務委員会	第1委員会室	同
15日 (水)	予備日	第1委員会室	
16日 (木)	本会議 (一般質問)	議場	
17日 (金)	本会議 (一般質問)	議場	
21日 (火)	本会議 (一般質問)	議場	
22日 (水)	本会議 (一般質問)	議場	
24日 (金)	本会議 (一般質問)	議場	
28日 (火)	本会議	議場	付託案件採決

はもったもな考えだと答えていました。

9月定例議会は1日から28日まで

9月定例議会が1日から始まります。初日は提案理由の説明と総括質疑が行われ、2日も総括質疑が行われます。

私は1日の夕方か2日の午前に日本共産党議員団を代表して総括質疑で登壇し、昨年度の緊急経済対策の評価や指定管理者に対する指導、特別養護老人ホームの増設問題などで質疑を行います。

質疑の模様はケーブルテレビ、市議会ホームページでご覧いただけます。



太陽エネで水を循環
太陽電池パネルを使って水の流れをつくり、涼んでいる人がいました。